

Neuroscience 2016
第39回 日本神経科学大会
The 39th Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society

プログラム集広告
大会ホームページバナー
募集ご案内



2016年7月20日(水)～22日(金)

パシフィコ横浜

第39回日本神経科学大会 / Neuroscience 2016

大会長 入来 篤史

(理化学研究所脳科学総合研究センター)

ご挨拶

脳と心、すこやかに

いま、私達の日常社会のなかで、さまざまな「こころの問題」が注目されています。人生をより豊かに幸せにおくるために、そして直面するさまざまな問題を理解し解決するために、こころのメカニズムの解明は、これからの脳神経科学の大目標です。今年の第39回日本神経科学大会は、第31回国際心理学会議と、同じ会場で連続して開催します。これを好機として、本大会は『**脳と心、すこやかに**』をテーマに、脳神経科学分野の最先端で活躍する国内外のトップ研究者が糾合し、我が国の次世代の神経科学を担う気鋭の研究者とともに、脳と心のメカニズムの解明を期して、分子細胞生物学的基礎から臨床医学/心理学に亘る幅広い研究分野の学術領域の振興と、世界をリードする研究の活性化を図ることを目指します。

しかし、心理的な現象である「心」のはたらきと、生物的な臓器である「脳」機能のメカニズムの間には、まだまだ大きなギャップがあります。人間の心は、個性ゆたかで多様性に富み、人生の経験や歴史とともにうつろいゆくものですから、できるだけ単純な要素還元論的な説明や再現性と普遍性を追及する現代自然科学の作法とは、実は相性がよくないのです。けれども、「心」は私達の「脳」のはたらきで生み出される、と誰もが思っていますから、それを知りたくなるのも、また人間です。脳神経科学は、すぐその手前まで手の届くところまで来ている、と人々の期待をあつめています。わたしたち神経科学者はそれに真剣に応えようとしています。

ここに必要なのは、立場の異なる人々がお互いに敬意をもって寛容に向かい合い、絶え間なく交流することによる相互作用でしょう。そのためには、有効な仮説を幾つも組み立て、一つ一つ丁寧に吟味してゆく以外にありません。こうした実証実験で得た事実に基づいて元の仮説を再検討し、それが修正されたり否定されたりしながら、これを幾度も幾度もくりかえすことが、研究の進歩を確実に牽引します。脳神経科学は、人間の心の問題に科学的な客観評価軸をもとめる、現代社会の要請に答えようとしています。そしてそこには心のメカニズム解明という、学問的な大挑戦としての躍動感、真実を追及して深く考える学者の本分としての醍醐味があります。

この相互作用をより内容の濃いものにするために、本大会では国際心理学会と協働して、さまざまな連携・共同企画を予定しています。脳と心の理解は、『人間』を理解することでもあります。さらにここで、そのメカニズムの一端でも、従来の自然科学的な機能分子や神経回路の言葉に翻訳するための、これまで困難であった新たな方法を編み出すことができれば、現代社会が直面するさまざまな心の問題を直ちに克服して、すこやかな脳と心をはぐくむ手掛かりが得られるかもしれません。本大会が、そのような契機となることを願っています。

第39回日本神経科学大会

大会長 入来 篤史

理化学研究所脳科学総合研究センター

■ 開催概要

1. 会議の名称 第39回日本神経科学学会大会
The 39th Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society

2. 大会テーマ 脳と心、すこやかに
be sound, brain and mind

3. 開催日程 2016年（平成28年）7月20日（水）～22日（金）

4. 開催会場 パシフィコ横浜
〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい-1-1-1
<http://www.pacifico.co.jp/>

5. 開催の目的と意義

本大会は『脳と心、すこやかに』をテーマに、脳神経科学分野の最先端で活躍する国内外のトップ研究者が糾合し、我が国の次世代の神経科学を担う気鋭の研究者とともに、脳と心のメカニズムの解明を目指す、分子細胞生物学的基礎から臨床医学/心理学に亘る幅広い研究分野の学術領域の振興と、世界をリードする研究の活性化を図る。本大会はまた、連続して開催される第31回国際心理学会議と協働して、健やかな脳と心を育て近未来の人間社会が豊かで幸せであることに資するべく、様々な学際的連携企画を予定している。

6. 開催計画の概要

- プレナリーレクチャー
- 特別講演
- 特別企画
- シンポジウム
- 受賞記念講演
- 一般口演・ポスター発表
- ランチョンセミナー
- 機器、試薬、書籍等展示会等

7. 参加者数 約3,500名（予定）

8. 使用言語 日本語 / 英語

9. 大会組織

大会長	入來 篤史	理化学研究所脳科学総合研究センター
実行委員長	三村 將	慶應義塾大学医学部
実行委員		
財務委員	岸本 年史	奈良県立医科大学医学部
	鈴木 則宏	慶應義塾大学医学部
	須原 哲也	放射線医学総合研究所分子イメージング研究センター
	里宇 明元	慶應義塾大学医学部
大会委員	礪村 宜和	玉川大学脳科学研究所
	大塚 稔久	山梨大学大学院総合研究部
	加藤 総夫	東京慈恵会医科大学医学部
	久保 健一郎	慶應義塾大学医学部
	熊崎 博一	福井大学子どものこころの発達研究センター
	田岡 三希	理化学研究所脳科学総合研究センター
	田中 謙二	慶應義塾大学医学部
	筒井 健一郎	東北大学生命科学研究科
	中島 修子	理化学研究所脳科学総合研究センター
	野田 百美	九州大学大学院薬学研究院
	山崎 由美子	慶應義塾大学先端研究センター

プログラム委員長

坂上 雅道	玉川大学脳科学研究所
持田 澄子	東京医科大学医学部

プログラム委員

池谷 裕二	東京大学大学院薬学系研究科
伊佐 正	自然科学研究機構生理学研究所
石井 信	京都大学大学院情報学研究科
岩坪 威	東京大学大学院医学系研究科
上田 泰己	東京大学大学院医学系研究科/理化学研究所生命システム研究センター
岡澤 均	東京医科歯科大学難治疾患研究所
岡本 仁	理化学研究所脳科学総合研究センター
岡本 泰昌	広島大学医歯薬保険学研究院
小川 園子	筑波大学人間系
尾崎 紀夫	名古屋大学大学院医学系研究科
尾上 浩隆	理化学研究所ライフサイエンス技術基盤研究センター
笠井 清登	東京大学大学院医学系研究科
狩野 方伸	東京大学大学院医学系研究科
上口 裕之	理化学研究所脳科学総合研究センター
上川内 あづさ	名古屋大学大学院理学研究科
菊水 健史	麻布大学獣医学部
北澤 茂	大阪大学大学院生命機能研究科
黒田 公美	理化学研究所脳科学総合研究センター

小林 和人	福島県立医科大学医学部
後藤 由季子	東京大学大学院薬学系研究科
五味 裕章	NTT コミュニケーション科学基礎研究所
櫻井 武	京都大学大学院医学研究科
定藤 規弘	自然科学研究機構生理学研究所
澤本 和延	名古屋市立大学医学研究科
白尾 智明	群馬大学大学院医学系研究科
鈴木 匡子	山形大学大学院医学系研究科
高草木 薫	旭川医科大学医学部
高橋 英彦	京都大学大学院医学研究科
高橋 良輔	京都大学大学院医学研究科
内匠 透	理化学研究所脳科学総合研究センター
田中 沙織	国際電気通信基礎技術研究所
田中 真樹	北海道大学大学院医学研究科
筒井 健一郎	東北大学大学院生命科学研究科
銅谷 賢治	沖縄科学技術大学院大学神経計算ユニット
富永 真琴	自然科学研究機構岡崎統合バイオサイエンスセンター
富本 秀和	三重大学大学院医学系研究科
内藤 栄一	情報通信研究機構脳情報通信融合研究センター
仲嶋 一範	慶應義塾大学医学部
中村 加枝	関西医科大学医学部
鍋倉 淳一	自然科学研究機構生理学研究所
西田 眞也	NTT コミュニケーション科学基礎研究所
貫名 信行	同志社大学大学院脳科学研究科
野田 百美	九州大学大学院薬学研究院
服部 信孝	順天堂大学医学部
花嶋 かりな	理化学研究所多細胞システム形成研究センター
春野 雅彦	情報通信研究機構脳情報通信融合研究センター
平田 たつみ	国立遺伝学研究所
尾藤 晴彦	東京大学大学院医学系研究科
藤田 一郎	大阪大学大学院生命機能研究科
真鍋 俊也	東京大学医科学研究所
三浦 正幸	東京大学大学院薬学系研究科
村井 俊哉	京都大学大学院医学研究科
森 郁恵	名古屋大学大学院理学研究科
山中 宏二	名古屋大学環境医学研究所
山本 亘彦	大阪大学大学院生命機能研究科
吉村 由美子	自然科学研究機構生理学研究所
和田 圭司	国立精神・神経医療研究センター神経研究所
渡辺 雅彦	北海道大学大学院医学研究科

組織委員

浅島 誠	日本学術振興会
安西 祐一郎	日本学術振興会
岡野 栄之	慶應義塾大学
永井 良三	自治医科大学
中尾 一和	京都大学
長谷川 寿一	東京大学
長谷川 眞理子	総合研究大学院大学
樋口 輝彦	国立精神・神経医療研究センター
廣川 信隆	東京大学
藤吉 好則	名古屋大学
松沢 哲郎	京都大学
矢崎 義雄	国際医療福祉大学
山岸 俊男	一橋大学

(五十音順)

10. 収支予算案

収入の部

項 目	金額 (円)	備考
1 大会参加費	40,100,000	
[早期事前登録]		
会員 (一般) 16,000 x 1,300名	20,800,000	参加者 3,000名想定
会員 (大学院生) 1,000 x 500名	500,000	
会員 (筆頭発表の学部学生) 1,000 x 50名	50,000	
非会員 (一般) 20,000 x 70名	1,400,000	
非会員 (大学院生) 3,000 x 50名	150,000	
[後期事前登録]		
一般 18,000 x 200名	3,600,000	
会員 (大学院生) 2,000 x 20名	40,000	
非会員 (一般) 22,000 x 60名	1,320,000	
非会員 (大学院生) 4,000 x 50名	200,000	
[当日参加]		
会員 (一般) 20,000 x 240名	4,800,000	
会員 (大学院生) 3,000 x 30名	90,000	
非会員 (一般) 25,000 x 250名	6,250,000	
非会員 (大学院生) 5,000 x 180名	900,000	
2 懇親会参加費	2,010,000	有料参加者500人 (一般300 : 大学院生200)
3 学会貸付金	500,000	日本神経科学学会
4 出展料	27,432,000	機器展示 90小間、書籍展示 30小間 アカデミア展示 20小間
5 セミナー共催費	14,688,000	10件
6 スポンサー費	3,000,000	パッケージスポンサー
7 広告料	2,440,800	HPバナー広告、プログラム集広告
8 寄付・助成・補助	10,000,000	財団等
9 その他収入	500,000	
合 計	100,670,800	

支出の部

項目	金額 (円)	備考
1 会議準備費	18,210,216	
1 事前準備人件費	3,798,200	
2 会合費	345,800	
3 事前参加登録関係費	1,000,000	
4 演題処理関係費	2,000,000	
5 座長依頼、座長管理費	278,640	
6 ホームページ制作関係費	1,188,640	
7 印刷・制作費	6,685,740	
8 翻訳費	151,200	
9 通信費	761,996	
10 運営諸経費	2,000,000	
2 会議運営費	74,848,333	
1 会議場利用料、付帯設備費	34,178,023	パシフィコ横浜
2 映像機材費	6,820,241	
3 看板関係費	1,092,960	
4 ポスター会場関係費	1,034,953	
5 展示会場関係費	6,636,988	無線LAN設置費含む
6 大会当日人件費	6,665,760	
7 招待者関係費	8,089,760	プレナリー・特別講演等
8 会議費	6,726,240	懇親会・若手国際交流会
9 運営諸経費	2,231,888	事務局備品等
10 市民公開講座運営関係費	1,371,520	
3 事後処理費	3,393,037	税理士費用・学会貸付金返済含む
4 予備費	4,219,214	
合 計	100,670,800	

広告掲載

プログラム集/大会ホームページバナー

募集ご案内

■プログラム集広告掲載 募集要項

1. 広告媒体名 : 第39回日本神経科学大会 / Neuroscience 2016 プログラム集
2. 広告媒体版型・印刷方法等 : A4判(天地 297mm x 左右 210mm)、500 ページ想定
印刷:オフセット印刷 表紙 4C/本文 IC、製本:無線綴じ
3. 発行部数 : 4,000 部 (予定)
4. 配布対象 : 大会参加者
5. プログラム集発行予算 : 4,000,000 円
6. 広告掲載費 : 後付掲載面の割付は主催者に一任いただきます。

掲載面	スペース	印刷色数	掲載費(税別)	募集予定数
表4(裏表紙)	A4 1 ページ	カラー(4色印刷)	500,000 円	1 枠
表2(表紙のウラ)	A4 1 ページ	白黒(1色印刷)	250,000 円	1 枠
表3(裏表紙のウラ)	A4 1 ページ	白黒(1色印刷)	250,000 円	1 枠
後付 1 ページ	A4 1 ページ	白黒(1色印刷)	150,000 円	10 枠程度
後付 1/2 ページ	A4 1/2 ページ	白黒(1色印刷)	80,000 円	10 枠程度

※ページ割付は主催者にご一任願います。

7. 申込方法 : 別添の申込用紙に必要事項をご記入の上、E-mail または FAX にて運営事務局までご送付下さい。
8. 申込締切日 : 2016 年 3 月 31 日(木)
9. 原稿締切日 : 2016 年 4 月 15 日(金)
10. 広告サイズ : 1 ページ 天地 255mm X 左右 180mm
1/2 ページ 天地 120mm X 左右 180mm
ブリード版(断ち落とし)の広告はカラー、白黒共にできません。
11. 入稿形態 : 完全データ入稿・・・白黒、カラー(校正紙や出力見本を添付して下さい)
- データ入稿形式:
①Adobe illustrator - フォントは全てアウトライン化、画像は埋込をして下さい。使用した OS と illustrator のバージョンを明記下さい。入稿後は添付いただく校正紙との比較確認を印刷担当会社が行いますので、色校正は提出いたしません。予めご了承下さい。
②PDF ファイル入稿の場合、フォントは全てアウトライン化、画像は埋込されたファイル入稿をお願いします。MS-Word, MS-PowerPoint を利用しての PDF 保存の場合は必ず使用ソフトを明記してください。データをお受けできない場合もございます。ご了承ください。
12. 入稿方法 : 入稿データは、CD-ROM に保存しお送り下さい。使用後は運営事務局で破棄させていただきますのでご了承下さい。
13. 広告掲載費のご請求について : お申込後に広告掲載費のご請求書をお送りします。
請求書に記載いたします振込口座へ期日までにお振込み下さい。
※振込み手数料は貴社にてご負担ください。

14. 情報公開について : 抛出いただきました協賛金につきましては、各社が公表することに同意いたします。
15. 申込先 : 第 39 回日本神経科学学会大会 運営事務局
株式会社 JTB コミュニケーションデザイン(旧:株式会社 ICS コンベンションデザイン)内
〒105-8335 東京都港区芝 3-23-1 セレスティン芝三井ビルディング
TEL:03-5657-0777 FAX:03-3452-8550
E-mail: neurosci2016@jtbc.com.co.jp
※2016 年 4 月より、移転のため連絡先が変わりました。

■大会ホームページバナー広告掲載 募集要項

1. 広告媒体名 : 第39回日本神経科学大会 / Neuroscience 2016 大会ホームページ
2. 広告媒体形態 : バナー広告
3. 大会ホームページ : <http://www.neuroscience2016.jnss.org/>
2015年7月 OPEN
4. 募集予定数 : 10 枠程度
5. 表示方法 : ランダム表示 — ホームページ訪問時の Click タイミング表示です。
6. 広告掲載料金 : 200,000 円(税別)/1 枠
7. 申込方法 : 別添の申込用紙に必要事項をご記入の上、E-mail 又は FAX にて運営事務局までご送付下さい。
8. 掲載期間 : 2015年7月から随時受付。会期後1ヶ月後までの掲載を保証
9. 掲載サイズ : 天地 65 pixels x 左右 225 pixels
10. 入稿形態 : ①保存形式 — GIF(アニメーション GIF、無限ループ可)、JPEG
②保存容量 — 50Kbyte 以内
③掲載データの変更はできません。ご了承下さい。
11. 入稿方法 : 上記掲載サイズで製作し、保存形式を遵守し、リンク先 URL と共に入稿して下さい。
バナーデータ入稿後、7 営業日以内にバナー広告を掲載します。
入稿データは CD-ROM に保存しお送り下さい。
使用後は運営事務局にて破棄させていただきますので、ご了承下さい。
12. 広告掲載費のご請求について : お申込後に広告掲載費のご請求書をお送りします。
請求書に記載いたします振込口座へ期日までにお振込み下さい。
※振込み手数料は貴社にてご負担ください。
13. 情報公開について : 抛出いただきました協賛金につきましては、各社が公表することに同意します。
14. 申込先 : 第39回日本神経科学学会大会 運営事務局
株式会社 JTB コミュニケーションデザイン(旧:株式会社 ICS コンベンションデザイン)内
〒105-8335 東京都港区芝 3-23-1 セレスティン芝三井ビルディング
TEL:03-5657-0777 FAX:03-3452-8550
E-mail: neurosci2016@jtbcom.co.jp
※2016年4月より、移転のため連絡先が変わりました。

※大会ホームページ イメージ

第39回
日本神経科学大会
The 39th Annual Meeting of
the Japan Neuroscience Society

日本語 English

- HOME
- 開催概要
- ご挨拶
- 大会概要
- プログラム
- 企業シンポジウムのご案内
- 学会協賛のご案内
- 酒類協賛のご案内
- 企業協賛のご案内
- Travel Award
- 会場へのアクセス
- 宿泊のご案内
- 市民公開講座
- サテライトシンポジウム
- 学術研究奨励金委員会
- ウェブマーケティング
- 東京共同国際化推進委員会
- 電子帳簿発行のため
- リンク

NMDD 2016
The 14th Annual Meeting of the
National Multiple Sclerosis
Society of Japan

広告バナー 広告バナー 広告バナー

第39回 日本神経科学大会

The 39th Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society

脳と心、すこやかに

日 期
2016年7月20日(水)
～22日(金)

会 場
パシフィコ横浜

大会長

入家 篤史
(国立研究開発法人理研 脳科学研究センター)

日本神経科学大会・ICP 2016 連携記念企画！
両大会に参加登録された方に、オリジナル特製 QUO (プリペイド) カードプレゼント！

学術研究奨励期間

第1期 2015年12月10日(水)～2016年4月20日(水)
第2期 2016年 4月21日(木)～2016年6月17日(金)

一般公開講座期間

2015年12月10日 (水) ～2016年2月3日 (水) まで

What's New

2015/07/10 企業シンポジウムの募集を開始しました！
2015/07/04 7月20日(水)開会式のご案内：公式サイトを公開しました！

連携発表

第31回脳神経心理学会

ICP 2016
2016年
7月24日(日)～26日(火)
会場：パシフィコ横浜

2016年
7月24日(日)～26日(火)
会場：パシフィコ横浜

JNRSとICPの申日に
同時シンポジウムを
開催します

7月20日(水)と21日(木)の2日間、ICP
とJNRSの同時開催企画を開催しま
す。どうぞ期待！

守山事務所

日本神経科学学会
〒113-0033
東京都中央区日本橋1-2-28 都ビル5F
Tel: 03-3813-9272
Fax: 03-3813-9296

第39回日本神経科学大会実行委員会

〒100-0001
東京都千代田区千代田1-1-1 千代田ビル

第 39 回日本神経科学大会 / Neuroscience 2016 広告掲載申込書

申込書提出先 (FAX または、E-mail でお送りください):

第 39 回日本神経科学大会 運営事務局

郵送: 〒105-8335 東京都港区芝 3-23-1 セレスティン芝三井ビルディング

株式会社 JTB コミュニケーションデザイン (旧: 株式会社 ICS コンベンションデザイン) 内

FAX: 03-3452-8550 E-mail: neurosci2016@jtbcom.co.jp

※2016 年 4 月より、移転のため連絡先が変わりました。

本学会の趣旨に賛同し、下記のとおり広告掲載を申し込みます。

申し込み期限: 2016 年 3 月 31 日 (木)

年 月 日 ()

貴社名	フリガナ			
	(日)			
	(英)			
所在地	〒			
ご担当者	フリガナ	部署 役職		
電話番号		FAX		
E-mail				
申込み内容	内容	掲載面	申込み 口数	合計(税別)
	<input type="checkbox"/> プログラム集広告			円
	<input type="checkbox"/> バナー広告	大会ホームページ		円
備考				

【個人情報の取り扱いについて】

ご記載いただきました個人情報は、第 39 回日本神経科学大会に関する各種ご連絡に限り使用します。
本人の承諾が無い限り第三者に開示することはありません。

大会運営事務局 記入欄
